

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	155	事業名	大学連携推進協議会の検討
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区内に多くの大学が存在するという特長を活かし、区と区内大学とが様々な分野において相互に連携・協力することにより、文京区の魅力を高め、地域社会の活性化を図ります。		
手段	区内大学学長懇談会及び実務担当者による会合を開催し、大学連携推進協議会発足の可能性や、地域連携、大学連携をより一層推進していくための方策等の検討を行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
大学学長懇談会開催回数	回	1	1	1	100%	1			1
実務担当者会議開催回数	回	2	3	3	100%	3			3

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	0	373	212	328		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	0	373	212	328		
所要人員 B	0.30	0.30	0.30	0.30		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	2,128	2,069	2,069	2,043		
総経費 E=A+D	2,128	2,442	2,281	2,371		

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
【成果】 区と区内大学・短期大学及び大学間の連携等を一層進めていくために、各大学の事務担当者が出席する「地域連携担当者会議」を7月と10月に開催し、区と大学との連携した取り組み事例の報告や大学施設開放のアンケート調査、意見・要望の交換などを行い、一定の成果が得られました。 また、1月に区内大学学長懇談会を開催し、「大学が考える地域貢献」を議題として、大学連携の一層の推進に向けた意見交換を行うことができました。	【成果】 地域連携担当者会議を7月、10月、2月に開催し、連携についての報告等を行いました。また、東日本大震災を踏まえた、震災時の相互協力等に関するアンケート調査を行い、今後の相互協力について検討しました。 区内大学学長懇談会を1月に開催し、「大規模災害における区と区内大学との相互協力について」を議題として、意見交換を行いました。	【成果】		
【課題】 各大学とも、地域連携・地域貢献の必要性は認めているところではありますが、大学ごとに、連携の体制づくりや取り組み状況等に温度差があり、連携に対する共通の認識を持つまでに至っていない状況にあります。	【課題】 各大学の規模や学内連携体制に相違があるため、連携協議会の発足に向け、連携担当者会議においてさらに検討を進めていく必要があります。	【課題】		
指標達成度		23年度	24年度	25年度
		A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①
②

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	区内大学学長懇談会を年1回、実務担当者による地域連携担当者会議を年3回程度開催し、大学連携を一層推進していくための方策等を検討していきます。
24年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳 平成23年度373千円 平成24年度328千円 45千円減 (経費削減による一般需用費等の減)
25年6月末		③ 所要人員の考え方 学長懇談会、地域連携担当者会議の開催、個別の連携事業の打合せ等 $1人 \times 4H \times 3日 \times 40週 = 480H$ $480H \div 1744H \approx 0.3人$
		④ 現状維持の理由 大学との連携事業をより一層推進していくために、大学連携推進協議会の発足に向けた検討を引き続き行っていく必要があります。

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	156	事業名	生涯学習一日体験フェア
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	区民の生涯学習活動への参加を促すため、学習相談、学習情報の提供、活動成果の発表の場として生涯学習一日体験フェアを実施し、「学び」との出会いを支援します。		
手段	文京アカデミア講座の企画協力団体等が一堂に集い、講座の内容紹介、サークルの活動発表、学習相談などを行います。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
体験フェア参加大学・団体数	団体	50	55	78	142%	60			65
体験フェア来場者数	人	818	1,100	1,026	93%	1,200			1,300

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	232	320	320	320		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	232	320	320	320		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	1,064	1,034	1,034	1,021		
総経費 E=A+D	1,296	1,354	1,354	1,341		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度		24年度	
【成果】	平成20年度後期以来、年2回開催しているが、参加希望団体、来場者共に増加し、平成23年3月実施時には参加者・来場者を併せて500人を超え、広く区内の生涯学習事業を紹介することができました。また、企画・出展者の調整・設営計画及び当日の運営を生涯学習支援者有志により構成された「文京アカデミア生涯学習一日体験フェア実行委員会」と協働を行うことにより、生涯学習支援者に活動の場を提供しました。	【成果】	参加団体、協力団体は回を重ねるにつれ増加し、生涯学習講座の紹介やサークル活動の成果発表の場としての役割を果たしており、来場者からのアンケートなどでは概ね好評を得ています。さらに、実行委員の人数も増加し、生涯学習支援者の活動の場としても有効に機能しています。
【課題】	会場の利用方法や運営方法などには改善すべきところがあるため、協働する実行委員と共に検討しながら改善していく必要があります。また、生涯学習一日体験フェアについて、より多くの区民に周知し、参加者・来場者ともに増加を図る必要があります。	【課題】	22年度後半から1階展示室も会場として使用していますが23年度は来場者数は伸び悩みました。23年度は天候に恵まれなかったこともあります。広報ツールを増やしたり、より効果的な周知方法を検討していくことで来場者の増加を図る必要があります。
指標達成度		23年度	24年度
		A	B

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	直接話が聞いて有意義だった。何か参加してみたい。学習室の音響が良くない。よいイベントなので積極的に周知して沢山の来場を。など(来場者アンケート)、発表・演奏ができてよかった。こういう機会がないと区民の方々と話ができない。出展者間で情報交換できた。(出展出演者アンケート)
②	企画・出展者調整・設営計画及び当日の運営を生涯学習支援者有志により構成された「文京アカデミア生涯学習一日体験フェア実行委員会」と協働で行っています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
23年6月末	現状維持	① 事業の展開内容 広報ツールを増やしたりより効果的な周知方法を検討し、現状のコストは維持したまま来場者の増加を図っていきます。
		② 予算の増減内訳 増減なし
24年6月末	現状維持	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由 区民参画による運営体制も定着し、来場者も増加傾向にありますので、基本的には現状を維持しつつ、より効果的な周知方法を検討していきます。
25年6月末		

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	157	事業名	生涯学習支援者の育成・活用
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	「文の京生涯学習司」、「文の京地域文化インタープリター」等の本区独自の資格取得者や、区民の講座運営を支援する「文京アカデミアサポーター」など、生涯学習支援者を育成・活用し、地域における生涯学習活動の活性化や区民の主体的な学習や活動を支援します。		
手段	「学習司」、「インタープリター」、「サポーター」などの人材を育成する講座や育成した人材が一層スキルを高める講座を実施するとともに、育成した人材が連携を深めるための場を設けたり、活躍できる場を充実していきます。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
「学習司」認定者数	人	24	0	0	0%	30			0
「インタープリター」初級認定者数	人	0	30	17	57%	0			0
「サポーター」登録者数	人	16	20	18	90%	20			20
学習司スキルアップ講座開催回数	回	0	1	1	100%	0			1
学習支援者スキルアップ講座開催回数	回	1	3	2	67%	3			3
学習支援者連絡会	回	2	2	2	100%	2			2
特別公開講座開催回数(人材育成)	回	1	1	1	100%	0			0

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	1,502	2,080	1,862	1,142		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	1,502	2,080	1,862	1,142		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	1,064	1,034	1,034	1,021		
総経費 E=A+D	2,566	3,114	2,896	2,163		

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
【成果】 「学習司」は平成18年度から養成講座を開講し、22年度までに132名が認定されました。「インタープリター」は平成18・19・21年度に初級講座を開講し、22年度までに初級認定者が65名となったほか、初級認定者を対象に中級や演習講座を実施しました。「サポーター」は平成18年度から養成講座を開講し、22年度までの登録者は93名です。活用としては、講座の企画、生涯学習一日体験フェアへ企画、企画展や特別公開講座の開催、講座開催のサポートなど、学習成果を活かした取り組みを行っています。	【成果】 「学習司」は既認定者対象のスキルアップ講座を実施しました。「インタープリター」は新たに17名を初級認定し、認定者数は82名となりました。また、初・中級認定者対象の上級講座を実施しました。「サポーター」は新たに18名が登録し、登録者数は108名となりました。活動の場は、講座企画・運営、一日体験フェア、企画展や講座のサポート等を行いました。	【成果】		
【課題】 資格取得後の活動の場が不足しているという声があり、さらなる活動の場を作ることが必要です。また、育成した人材のスキルアップを図る機会の提供も必要です。	【課題】 資格取得後の活動の場の充実を望む声に応え、さらなる活動の場を作ることが求められます。併せて学習支援者スキルアップ講座の内容等を検討する必要があります。また、「インタープリター」は現行の養成メニューは予定どおり23年度をもって終了し、新たな方向性を検討することになっています。	【課題】		
指標達成度				
		23年度	24年度	25年度
		A	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①資格認定者が活動する機会や場の一層の充実を望む。(生涯学習推進関係委員会等)
②育成した学習支援者との協働を進めることが区民参画につながっています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	
23年6月末	拡充	① 事業の展開内容 必要に応じた人材育成を進めるとともに、23年度から始めたフォローアップ講座の内容を充実させ人材のスキルアップを図っていきます。
24年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳 平成23年度2,080千円 平成24年度1,142千円 938千円減 (インタープリター講座の休止、学習司スキルアップ講座の隔年実施など)
		③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
25年6月末		④ 現状維持の理由 全体としては現状コストの範囲内で個々の事業を見直し、各種人材の育成と活動機会の充実を図っていきます。

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	158	事業名	大学・企業等との協働の推進
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	大学、企業や団体の施設・設備・人材を活用した講座の実施や、社会貢献事業の誘致により、より多くの区民が自分に合った「学び」を見つけるられるよう、講座等のメニューの充実を図ります。		
手段	大学の学習環境や高度かつ専門的な知的財産を活用するため、大学施設を使った大学キャンパス講座、大学学長の講演会（大学プロデュース特別公開講座）を実施します。また、企業や団体の社会貢献事業を積極的に誘致し、メセナ講座を実施します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度		24年度			25年度	
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
大学キャンパス講座開催回数	回	23	27	26	96%	27			27
大学プロデュース特別公開講座開催回数	回	1	2	3	150%	2			2
メセナ講座開催回数	回	5	4	2	50%	4			4
大学キャンパス講座受講者数	人	699	810	689	85%	810			810

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	1,239	1,314	1,381	1,580		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	1,239	1,314	1,381	1,580		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	1,064	1,034	1,034	1,021		
総経費 E=A+D	2,303	2,348	2,415	2,601		

4 評価					
事業の成果及び課題					
23年度		24年度		25年度	
【成果】 大学キャンパス講座の実施数は、平成20年度19講座、21年度21講座、22年度23講座と順調に講座数を増やしています。メセナ講座の実施回数が、21年度1講座から22年度5講座に増えました。		【成果】 大学キャンパス講座は、26講座と22年度からさらに実施数を増やし、目標をほぼ達成しています。他には大学プロデュース講座（学長講演会）を3回、メセナ講演会を2回実施しました。		【成果】	
【課題】 大学においては、より専門的な学習を担うことが期待されており、大学キャンパス講座では、各大学の特色や得意とする分野を活かした講座が求められています。また大学キャンパス講座を実施していない区内大学にも今後の実施を積極的に呼び掛け、さらにバラエティに富んだメニューを実施していくことが必要です。		【課題】 大学には専門的な学習を担うことが期待されていますが、専門的過ぎて受講生が定員割れすることもあるため、受講生ニーズの把握に一層留意して的確な企画を立てることが求められます。また、大学や企業等新たな協力先を開拓することも必要です。		【課題】	
指標達成度		23年度	24年度	25年度	
		A	B		

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①	大学のキャンパスで受講できるため申込した。大学のことを知らなかったが参加できてよかった。家の近くの大学で准教授の話聞いてよかった。当初イメージと内容がズレていた。若い人向けの感覚で教室が寒かった。 など（受講生アンケートより）
②	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	連携した講座未実施の大学に、引き続き連携を働きかけていきます。
		② 予算の増減内訳 平成23年度1,381千円 平成24年度1,580千円 199千円増（大学キャンパス講座の充実）
24年6月末	拡充	③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由
25年6月末		

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	159	事業名	文京アカデミア講座（生涯学習講座）
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミア推進計画		
所管	アカデミア推進部	アカデミア推進課	
目的	区民ニーズに合った生涯学習の機会を提供するため、魅力的な学習プログラムを用意し、時間や場所など、学習活動を行うにあたっての制約を除くための配慮と支援を行い、いつでも、どこでも、だれでも学習できる機会の充実を目指します。		
手段	地域、文学、歴史・社会、芸術、くらし、語学、健康・スポーツなど、多様な分野について学ぶことができるよう、バラエティに富んだ「文京アカデミア講座（生涯学習講座）」を実施します。また、時間や場所を問わずに、パソコンから講座等の受講ができる「eラーニング講座」を配信します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度		24年度			25年度	
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
自主企画講座の実施回数	回	18	18	9	50%	18			18
民間教育機関企画講座の実施回数	回	33	30	33	110%	30			30
区民プロデュース講座の実施回数	回	15	15	10	67%	15			15
いきいきアカデミア講座の実施回数	回	1	1	1	100%	1			1
子どもアカデミア講座の実施回数	回	9	10	9	90%	12			14
eラーニング講座の実施回数	回	3	3	3	100%	3			3
個別テーマ(パソコン等)講座の実施回数	回	22	21	26	124%	21			21
アカデミア講座受講者数	人	1,655	1,735	1,391	80%	1,820			1,900

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	6,335	9,670	7,521	9,138		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	6,335	9,670	7,521	9,138		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	1,064	1,034	1,034	1,021		
総経費 E=A+D	7,399	10,704	8,555	10,159		

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
【成果】 22年度は、特に区民の方から要望の高かったパソコン講座の回数を8回から12回に増やして実施しました。区民プロデュース講座（区民提案型講座）は、44件の応募企画から選定のうえ、15講座を実施しました。その他、民間教育機関企画講座、自主企画講座講座、いきいきアカデミア講座、夏休み子どもアカデミア講座、eラーニング講座など64講座を実施しました。	【成果】 パソコン講座は23年度からさらに増やして16回実施しました。その他の講座の実施状況はほぼ横ばいですが、講座企画募集等の時期が震災直後であったためか、自主企画のうち生涯学習支援者からの提案企画と区民プロデュース講座の実施数が少なくなりました。講座受講生からのアンケートでは、大半の講座で満足度が80%を超えています。	【成果】		
【課題】 区民の様々なニーズに対応できるバラエティに富んだ講座の提供や、内容の一層の充実が求められています。また、開催時間の配慮など、参加しやすい仕組みづくりを行うことが必要です。	【課題】 一層バラエティに富んだ講座を実施することや区の政策課題も念頭に置いたテーマに関する講座を企画することが求められています。また、勤労者や子育て世代なども参加しやすいメニューも実施していますが一層充実することが求められています。	【課題】		
指標達成度		23年度	24年度	25年度
		A	B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①内容が高度過ぎ、内容が易し過ぎと両意見有り、回数が多過ぎ、少な過ぎと両意見有り、その他楽しかったという意見、講師が良かったという意見多数あり（受講者アンケート）
②文京アカデミアサポーターによる講座開催時のサポート業務、区民等から提案された企画を実施する区民プロデュース講座、生涯学習司による区民プロデュース講座のコーディネート（サポート）など、様々な場面で区民参画を取り入れて事業を運営しています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	拡充	要望の高いパソコン講座は会場占有との関係も考慮しながら実施回数を増やすか否かを検討します。
24年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳 平成23年度9,670千円 平成24年度9,138千円 532千円減（パソコン講座用機器の更新経費の減などによる）
25年6月末		③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人 ④ 現状維持の理由 施設利用者やサークルのことを考慮すると講座実施数を増加させることには限界があります。内容の充実を図ることで受講生満足度の向上を目指します。

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	160	事業名	生涯学習情報の一元化及び相談拠点の整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【小項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区アカデミー推進計画		
所管	アカデミー推進部	アカデミー推進課	
目的	生涯学習に関する情報提供及び相談体制を整備することで、区民一人ひとりの学習や活動を支援し、一人ひとりの知識や意欲に応じた「学び」との出会いを支援します。		
手段	区、大学や生涯学習関係団体等のさまざまな学習情報を収集、整理、分類し、区民に情報提供できるように情報コーナーを設置します。また、区民が気軽に相談できる体制を整備します。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
学習相談員用講座開催回数	回	—	0	0		1			1
学習相談員の配置	人	—	0	0		0			1
情報コーナーの設置	か所	—	0	0		0			1
スクエアの発行	回	12	12	12	100%	12			12
講座案内の発行	回	4	4	4	100%	4			4

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A	11,560	12,260	12,260	11,987		
特定財源	0	0	0	0		
一般財源	11,560	12,260	12,260	11,987		
所要人員 B	0.15	0.15	0.15	0.15		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	1,064	1,034	1,034	1,021		
総経費 E=A+D	12,624	13,294	13,294	13,008		

4 評価				
事業の成果及び課題				
23年度	24年度	25年度		
【成果】 さまざまな主体の学習や学習活動に関する情報を収集し、広報誌（区報、スクエア）、ホームページなどを通じて情報提供してきました。また、区民プロデュース講座の企画者の講座企画提案のための相談を受けるとともに、生涯学習一日体験フェアでは、学習相談コーナーを設け、情報提供や相談を行いました。	【成果】 多様な生涯学習活動に関する情報を収集し、広報誌（区報、スクエア、講座案内）、ホームページなどを通じて情報提供してきました。また、区民プロデュース講座の企画者の講座企画提案のための相談を受けるとともに、生涯学習一日体験フェアでは、学習相談コーナーを設け、情報提供や相談を行いました。	【成果】		
【課題】 区民が、いつでも、どこでも生涯学習に参加できるようにするには、より有効な情報を手軽に得ることができることが必要です。また、情報提供に加え、気軽に相談できる場があることも重要です。	【課題】 区民が、いつでも、どこでも生涯学習に参加できるよう支援するため、情報提供に関する環境をさらに充実させるとともに、区民が気軽に相談できる場の整備が必要です。	【課題】		
指標達成度		23年度	24年度	25年度
		A	A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況
①平成22年1月に実施した「文京区アカデミー推進計画基礎調査」では、生涯学習に取り組んでいない理由として「十分な情報が得られないから」と答えた方が、男性60歳代と女性20歳代で3割を超えています。また、「学習や活動について気軽に相談できる窓口を充実すること」が女性50歳代で25%の方が挙げています。

6 今後の方向性		
時点	方向性	内容
23年6月末	拡充	① 事業の展開内容 情報収集体制及び学習相談拠点の整備に向けた具体的な検討を行います。
24年6月末	拡充	② 予算の増減内訳 平成23年度12,260千円 平成24年度11,987千円 273千円減（スクエアの発行等経費見直しなど）
25年6月末		③ 所要人員の考え方 3/12月×2人×30%=0.15人
		④ 現状維持の理由

平成24年度 事務事業評価表【B様式】

1 事業の概要			
事業番号	161	事業名	図書館資料へのICタグ整備
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区第4次電子自治体推進プラン、(文京区アカデミー推進計画)		
所管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	図書館資料についてICタグによる管理を行い、業務の省力化と利用者へのサービスの向上を図ります。		
手段	図書館資料にICタグを貼付し、従来のバーコード管理方式からICタグ管理方式へと移行するとともに、自動貸出機、自動返却機、セキュリティーゲート等の設置を行います。		

2 取組状況	
22年度	
23年度	ICタグ導入に向けて、必要な調査及び情報収集を行いました。
24年度	

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A		0	0	0		
特定財源		0	0	0		
一般財源		0	0	0		
所要人員 B		0.02	0.00	0.02		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	0	138	0	136		
総経費 E=A+D		138		136		

4 評価			
事業の成果及び課題			
	23年度	24年度	25年度
【成果】		【成果】 調査等を踏まえ、導入に向けたイメージを描き、準備を進めています。	【成果】
【課題】		【課題】 導入時における初期経費や次年度以降の費用対効果が課題となります。また、現在の図書館システムからのスムーズな移行に配慮する必要があります。	【課題】
達成度	23年度	24年度	25年度
		B	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	導入に向け、費用対効果などの検討を進めます。全館資料のICタグ化による人件費の抑制効果などについて検証していきます。
24年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳
25年6月末		③ 所要人員の考え方 1人×20%
		④ 現状維持の理由 平成24年度は、整備に向けた準備を引き続き行っていきます。

平成24年度 事務事業評価表【A様式】

1 事業の概要			
事業番号	162	事業名	図書館ホームページの拡充
基本構想上の位置付け	【大項目】		【中項目】
	コミュニティ・産業・文化		生涯学習
個別計画	文京区子ども読書活動推進計画、(文京区アカデミー推進計画)		
所管	教育推進部	真砂中央図書館	
目的	図書館ホームページにおいて、子ども・中高生向けのコンテンツを新規作成し、読書活動を支援します。		
手段	図書館ホームページを専門業者に委託し、子どもページやYA(ヤングアダルト)ページを公開し、多彩なメニューを増やします。		

2 事業の指標									
指標名	単位	22年度	23年度			24年度			25年度
		実績	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画
ホームページコンテンツ作成の進捗度	%		80	100	125%	90			100

3 コスト						
単位：千円	22年度	23年度		24年度		25年度
	実績	予算	実績	予算	実績	予算
事業費 A		4,636	4,589	0		
特定財源		0	0	0		
一般財源		4,636	4,589	0		
所要人員 B		0.30	0.30	0.00		
職員1人給与 C	7,092	6,895	6,895	6,809		
人件費 D=B×C	0	2,069	2,069	0		
総経費 E=A+D		6,705	6,658	0		

4 評価			
事業の成果及び課題			
23年度	24年度		25年度
【成果】	【成果】 計画していたコンテンツは利用者が見やすいように拡充を図りました。これにより読書活動への支援を充実させることができました。		【成果】
【課題】	【課題】 コンテンツの新規拡充は終了しましたが、継続的に、コンテンツの追加や更新を行い、情報の充実、魅力あるホームページ作りに引き続き取り組む必要があります。		【課題】
指標達成度	23年度	24年度	25年度
		A	

5 ①事務事業に関する区民要望・ニーズの変化及び②区民参画の状況	
①資料検索から予約、貸出履歴の確認まで、一連の流れを子ども自身の手でシームレスに行える設計が望ましい。(文京区子ども読書活動推進計画パブリックコメント)	
②中学生の職場体験の際などに子どものページやYAページの企画・制作への参画を考えています。	

6 今後の方向性		
時点	方向性	① 事業の展開内容
23年6月末	現状維持	② 予算の増減内訳
24年6月末	終了確定	③ 所要人員の考え方
25年6月末		④ 現状維持の理由